



東野小学校保健室

「むし歯の治療のお知らせ3枚目（レッドカード）」を配りました！

まだむし歯を治療していない人に3枚目の「治療のお知らせ」を配付しています。新しい学年への準備のひとつとして、年度内に体の宿題をゼロにしましょう。

※「治療のお知らせ」を提出済みなのに、受け取った方は保健室までお知らせください。



- むし歯は自然に治りません。
- 治さないまま放っておくと…治療するのにお金も時間も痛みも増えます。

学年	1	2	3	4	5	6	計
治療していない人数	5	6	7	3	2	1	24

て 手あらいキャンペーン第2弾を実施中です！

健康委員会の児童がキャンペーン第2弾として、手あらいに関するクイズラリーを計画しました。校舎内に掲示されている5問のクイズを休み時間に探して回答します。今回はより多くの方々に参加してもらうために、すべての学年に回答用紙を配りました。参加してくれた児童には健康委員がOをつけて返しました！



性の多様性について考えよう～全ての子どもが自分のままで大人になれるように～

2月17日(金)に令和4年度学校保健委員会を行いました。今回は講師としてNPO 法人 Rebit の中島潤さんをお招きし「性の多様性について」と題し講演をして頂きました。保護者26名、教職員30名計56名が参加し、有意義な時間となりました。一部をご紹介します。

LGBTQ を説明できますか？

性のあり方を示す言葉ではあるけれど「特別な人」という意味ではなく、「生きづらさ」「居場所のなさ」などの課題の認知のために使用されている言葉です。



「ふつう」と「当たり前」の枠組みってなんだろう？

男女分けはなんのためにあるのだろう。「男らしさ」「女らしさ」の枠組みってなんだろう。私たちにとっての「ふつう」「当たり前」が誰かを傷つけ、時には命をけずることもあります。これらの枠組みに疑問を持ち、見直していくことが、多様な性の人権尊重につながっていきます。まずは大人が、生活の中で「男だから泣いてはいけない」「女の子はピンク」などの無意識バイアス(偏見)をなくしていきましょう。

まずは相談される大人へ

大人が正確な情報を知り、伝えていくこと。「いつでも相談してね」という発信を積極的に行うことが大切です。本人が何に困っていて、誰に相談したいと思っているのか。カミングアウトがなくても困り事を解消していくことが本人の安心となります。また、カミングアウトされた場合の情報共有は本人の許可を取ってから。医療的な対応についても本人が望んだ時だけにしましょう。

保護者の方の感想

- ・社会の枠組を変えていくのは大変ですが、自分のできる範囲で男らしさ、女らしさを取り除いていきたいです。
- ・LGBTQ について伺っても、自分にできることはないと思っていましたが、全く違いました。まずは、子供が話をしやすい親になろうと思います。
- ・正しさでなく「らしさ」、個を大切にしたいと思いました。子供には“自分を好きになる”ことを大切にさせたいと思いました。「知識不足は偏見になる」という言葉にはっとさせられました。
- ・無知であること、学ばない事で、苦しめている人がいるかもしれないと感じました。個人がかわることが、社会がかわる第一歩「自分事にする」という事を忘れずにいきたいと思います。
- ・学校・教室の図書に予算がおりたら、今日取り上げた書籍をぜひおいてほしいと思います。
- ・正しい知識にふれることが大事であること、普段の自分の子供への言動で区分・区別ひいては差別につながるようになってないか。考えるきっかけを頂き、参加できて良かったと思います。
- ・「男の子なんだから～、女の子なんだから～」と言っていると思います。なかなかすぐに変える事は難しいかも知れませんが少しずつでも変えて行こうと思います。